

いわて復興だより

がんばろう！岩手、つながろう！岩手

三陸復興

第56号
(平成26年1月15日号)
岩手県

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

本格的な冬を迎え、雪景色の中、街行く人々の息も白くなる岩手県の今日この頃。
復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します。

菊池雄星選手、大谷翔平選手 による「ふるさと復興応援イベント」が開催されました

花巻市

平成25年12月28日(土)、花巻東高校出身でプロ野球で活躍する、菊池雄星選手(埼玉西武ライオンズ)と大谷翔平選手(北海道日本ハムファイターズ)による「ふるさと復興応援イベント」(主催:花巻市)が花巻市総合体育館アネックスで開催され、同市民や野球少年ら約3,000人が参加しました。

このイベントは、「育ててもらった岩手県に恩返しをしたい。沿岸の子どもたちが少しでも元気になってほしい」と両選手が発案し、花巻市等が賛同し実現されたもの。

会場では、菊池投手はピッチング、大谷選手はバッティングの技術指導を行い、その後のトークショーでは、2人の初対決やオールスターの様子を振り返るなどし、会場は大いに盛り上がりました。

イベントには、東日本大震災津波で被災した釜石市や大槌町の小、中学校の野球チーム14チーム(約270名)も招待され、両選手から、バットケースやボールケース

がプレゼントされました。

釜石市鶴住居(うのすまい)野球スポーツ少年団キャプテンの矢野かいと君は「野球指導で教わったことを忘れず、夢と希望を与えるプレーヤーになりたい」と両選手を前に、目を輝かせていました。



子ども達と一緒に記念撮影する菊池雄星選手(写真右)と大谷翔平選手(写真左)

毎月公表

「復興実施計画における主な取組の進捗状況」

岩手県の復興がどのくらい進んでいるかご存知ですか。県では、復興実施計画に位置付けた3つの原則(「安全」の確保、「暮らし」の再建、「なりわい」の再生)ごとの主な取組・事業の進捗状況をホームページで公表しています。

公表している進捗状況は、「安全」の確保への取組の1つとして取り組んでいる「災害廃棄物緊急処理支援事業(がれき処理)」や、「暮らし」の再建の1つとして取り組

んでいる「災害復興公営住宅等整備事業」、「なりわい」の再生の1つとして取り組んでいる「共同利用漁船等復旧支援対策事業」の状況など。第1期復興実施計画に位置付けた395事業の中から主な事業をピックアップし、簡潔なデータで進捗状況をお知らせしています。公表時期は毎月1回(月末~月初頃更新)。

県の復興への歩みを、具体的なデータでご覧ください。

詳しくは [岩手県 復興実施計画の進捗状況](#) [検索](#)

項目	概要	直近データ (平成25年12月25日公表分)
災害廃棄物緊急処理支援事業	災害廃棄物(がれき)の処理量・処理率等を公表	がれき推計量約525万tのうち、約476万tが処理完了 (処理率90.7%)
災害復興公営住宅等整備事業	災害復興公営住宅の整備(県事業分)について、現在の状況や今後の予定等を公表	計画した2,914戸中、74戸が完成、813戸が工事中又は工事発注済、1,110戸が設計中又は設計発注済
共同利用漁船等復旧支援対策事業	漁業協同組合による漁船・漁具の一括整備についての支援状況を公表	補助事業による新規登録漁船数 第1期目標値:6,800隻に対し、実績値6,161隻(進捗率90.6%)



県ホームページからダウンロードできる「復興実施計画における主な取組の進捗状況」

いわて復興応援団(員)大募集中!

知って、買って、食べて、行って応援!

登録無料



首都圏等にお住まいの方を対象に、応援団員(個人)と応援団(法人及び団体)の登録を募集しています。登録者には岩手県の復興の取り組みや観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。

[いわて復興応援団](#)

[検索](#)

「復興実施計画（第2期）」に若者、女性の視点を！ ～ 若者、女性との意見交換会が開催されました ～

盛岡市

岩手県は、東日本大震災津波からの本格復興を目指し、策定を進める「復興実施計画（第2期）」（平成26年度から平成28年度まで）について、若者や女性の意見を積極的に取り入れようと、「若者との意見交換会」及び「女性との意見交換会」を開催しました。

1月7日（火）、県庁で行われた「若者との意見交換会」には、県内各地で復興に取り組んでいる20代から30代の男女10名が参加。

参加した岡本翔馬さんは「女性や若者を巻き込んでいくためにはワクワクすることや、楽しいことが必要」と意見を述べるなど、若者の視点からの意見が活発に出されました。

また1月9日（木）、エスポワールいわてで行われた「女性との意見交換会」には、県内の団体や企業で活躍している女性11名が参加。

この会では、平成25年7月に実施した意見交換会における提言の反映状況を確認するとともに、復興実施計画（第2期）の素案についての議論が交わされました。

参加した佐賀 敏子さん（山田町立山田南小学校校長）は、「県の方々から今後の見通しや計画、様々な方のお考えを聞くことができ、大変学ばせていただいた。自分の意見も伝えることができ、よかった」と意見交換会の感想を述べていました。

県では、1月28日（火）から2月10日（月）まで「復興実施計画（第2期）」の1次案についての地域説明会を行い、さらに多くの方の意見を聞いた上、併せてパブリックコメントを実施。3月末に計画を策定することとしています。



若者との意見交換会の様子



女性との意見交換会の様子

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。

第11回目は、橋本 陸さんを紹介します。

PROFILE

三陸鉄道を愛し、中学生の頃から三陸鉄道盛駅の掃除や案内を手伝い始める、大船渡市出身の高校1年生。

震災後の2011年10月、NPO法人「夢ネット大船渡」が運営する「三陸鉄道盛駅ふれあい待合室」開業にともない手伝いを再開。

学校や部活動の合間をぬって、三陸鉄道とともに沿線の復興を見つめ、活動している。

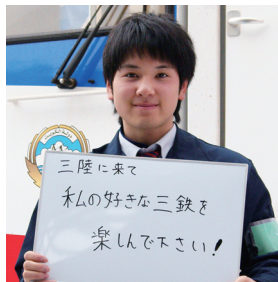
観光客が与える沿線への元気

祖母の実家が三陸鉄道の沿線にあり、小学生の頃から三陸鉄道を利用していたことなどから、三陸鉄道へ愛着を持つ橋本陸さん。

中学生になると観光案内のボランティアをするなど、三陸鉄道とともに地域を見つめ、高校生になった今も、休みの時などはアルバイトと



県立大船渡東高校1年生
橋本 陸
(はしもと りく) さん



橋本さんからのひと言：
三陸に来て
私の好きな三陸を楽しんで
下さい！

してNPO法人「夢ネット大船渡」の「三陸鉄道盛駅ふれあい待合室」で働いています。

「三鉄の運転が再開されてからは、観光の方も増え、その方々との会話も楽しいし、地元にも元気を与えてくれるのではと思います」と地元・大船渡の状況をいきいきと話してくれました。

鉄道路線の早期復旧、復興へ期待

今年4月に三陸鉄道の全線再開が予定される中、JR大船渡線は、BRT（バス高速輸送システム）での仮復旧。JR山田線は、バス会社による路線バスが代替輸送中です。

その現状を橋本さんは「まちとまちとの移動の手段として、鉄道というのは非常に大切な存在だと思います」と話し、鉄道の復旧に期待を寄せます。「被災地だからという自粛ムードがまだあると思いますが、気にせず、観光で大勢の方に来てもらい、三陸を楽しんで、いい思い出を作っていただきたいと思います。是非、いらしてください」と、三陸観光の復興への期待と、鉄道路線の早期復旧を願っていました。

岩手県の被害状況

平成25年12月31日現在

- ▶人的被害 死者（直接死）：4,672名 行方不明者：1,142名
- ▶建物被害（住家のみ、全半壊） 25,023棟

被害状況等の詳細

義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

[検索](#)

皆様のご支援、ありがとうございます

平成25年10月31日現在

- ▶義援金受付状況 約178億5,943万円（87,052件）
- ▶寄付金受付状況 約186億2,150万円（6,307件）
- ▶いわての学び希望基金受付状況 約60億3,353万円（10,956件）

※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより [Web](#)】もご覧ください！！

<http://iwate-fukkoudayori.com>

いわて復興だより 第56号 平成26年1月15日

企画・発行：岩手県復興局総務企画課 ☎019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

[いわて復興だより](#)

[検索](#)

編集・印刷：シナプス